



# いきいき通信 160号 (平成30年9月号)

iki iki - tushin

Take Free!

## 初めての奥・中上林合同開催「上林地区敬老会」

9月16日(日)、上林小中一貫校で「上林地区敬老会」が開催されました。今回、初めて奥上林・中上林の2地区合同で開催され、160名のお年寄りのほか、各自治会長や女性部、民生委員の方々が、小中学校の児童・生徒37名との触れ合いを楽しみました。

冒頭、山崎市長は祝辞の中で、日本の平均寿命や綾部の最高齢の方(女性109歳：豊里小畑町、明治42年生)や、「健康寿命」などに触れ、「いつまでも元気で、健康に長生きなさってください」とお祝いの言葉を述べました。

続いて子ども達のお祝い発表として、太鼓発表、作文発表、「じゃんけん交流」でお年寄りとお・中学生らが交流。上林の歴史や自然、地域の方々を大切にしたい思いを歌詞に込めた「ふるさと上林」の合唱など、密度の濃いプログラム内容でした。

最後には中上林老人クラブ連合会の四方さんから「初の合同の開催となり、より多くの仲間と交流することができ、語ることができてありがたかった。」と、謝辞を送られました。

その後の余興では、福知山淑徳高等学校和太鼓部による迫力の演奏を披露。加えて、上林駐在所の江上巡査部長の脚本による「オレオレ新喜劇」も大盛り上がりで、民謡や和太鼓演奏などと共に、暖かく会場を包んでいました。

参加者は、「子供さんの声の聞けない地域に暮らしていますので、大変穏やかな、ありがたい良い1日になりました。」と笑顔で話されていました。



ほっと頬が緩む新企画「じゃんけん交流」

## 京産大「水源の里A t o Z」で集落の声を新たな“カタチ”に

9月11日(火)～13日(木)にかけて、京都産業大学の滋野ゼミが水源の里・老富で「水源の里A t o Z」作成のため、集落でのヒアリング及び中間発表を実施しました。

11日(火)には老富の各団体代表の方々から、子どもだった頃の生活、炭焼きや森林作業者の思い出、水源の里事業への熱意を約4時間に渡り丁寧にお話しいただきました。

12日(水)には小学生の上林地区学習に参加。全日聞いた「みのだ橋」とフォークソングの関わりを直接確かめるなどして、集落を探索しました。

そして13日(木)には、市役所で中間報告を実施。Aを「アンティーク」、Bを「ビジネス・チャンス」とするなど、「なぜその言葉を選んだのか」の説明を加えながら、学生の感じた老富の姿を発表しました。

ゼミ生の寺井 彰さん(20)は「老富の方々、ご自身の深いところで持っておられる生命力を感じた。生きる知恵であったり、技術を持っておられると思った。」と感慨深そうに話していました。

今後、この内容を更にバージョンアップし、12月頃、老富で構想案を発表される予定です。



老富住民からお話しを聞く滋野先生ら

## 第12回全国水源の里シンポジウムが舞鶴市で開催。

第12回全国水源の里シンポジウムが、京都府舞鶴市を舞台に開催されます。11月1日（木）にはシンポジウムが開催され、「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、我が国の過疎・高齢化によりコミュニティの維持が困難な状況にある「農山漁村集落の課題」を考えるとともに、一方でふるさと難民と言われる無縁社会が進行する「都市の課題」を取り上げ、農村・都市両方の視点から議論を深められます。

また、2日（金）には現地視察として舞鶴市の各所を訪問し、事例を学びます。ぜひご参加ください。

【日 時】平成30年11月1日（木）～2日（金）  
1日（木）13:00～17:00  
2日（金）9:00～13:45

【会 場】舞鶴市総合文化会館 大ホール ほか  
（京都府舞鶴市字浜 2021 番地）

【内 容】シンポジウム（1日目）（参加費：無料）  
・基調講演 「農山漁村と都市の共生」  
講師 大森彌氏（東京大学名誉教授）  
・事例紹介、パネルディスカッション ほか  
現地視察（2日目）（参加費：3,500円）  
西方寺平コース、布敷コース ほか3コース

【問合せ先】

舞鶴観光協会 全国水源の里シンポジウム受付係

TEL: 0773-77-5400、FAX: 0773-77-5401



京都府での開催は綾部以外では初めて

## 今年のグランプリは？フォトコンテスト審査会開催

今年10周年を迎えた「全国水源の里フォトコンテスト」。過去最多682点の応募があり、水源の里を表現したハイレベルの作品が集うコンテストとなっています。

9月18日（火）、京都市内で審査会が開催され、審査員は日本写真著作権教会会長の田沼武能先生と京都市立芸術大学理事長・学長の鷲田清一先生がご担当くださいました。

両先生の深い見識のもと、5時間近くに及ぶ審査を経てグランプリなど14点が選出。両氏は一点一点丁寧に作品の魅力を確かめながら、審査されていました。

なお、結果は11月に開催される「第12回全国水源の里シンポジウム」の中で発表されます。



審査の様子（左から鷲田先生、田沼先生）

## 「洞峠の風にふれあう交流会」が今年も開催

綾部市奥上林地区と美山町鶴ヶ岡地区を結ぶ「洞峠」。第21回となる交流会が今年も開催されます。古道洞峠の山頂を目指し、両地区が同時に出発、合流するイベントです。今年は美山町側に下山しそば打ち体験ができます。ぜひご参加ください。

【日 時】10月28日（日）9:30 古屋公民館 集合  
【参加費】500円（保険代、記念品含む）

【持ち物】雨具、弁当、飲み物、登山のできる装備

【内 容】登山、そば打ち体験、地元バンドによるライブ

【申込等】参加者氏名、年齢、住所、電話番号、交流会への参加有無を下記申込み先までご連絡ください。

●奥上林公民館 TEL. 55-0001

※雨天中止。その場合は主催者から電話連絡があります。

告知



頂上では一緒に写真撮影（写真はH27年）